

初任科第58期生 卒業実科訓練

- 1 目的：この訓練は、初任教育「初任科（第58期生）」の卒業式を控え、これまで習得した6カ月間の教育訓練の成果を披露するとともに、消防業務の第一線へ巣立とうとする学生に対し、改めて消防職員としての規律と職責の自覚を促し、併せて激励を与えることを目的とする。
- 2 実施日時：平成28年9月20日（火） 13時30分～16時00分
- 3 実施場所：富山県消防学校（富山県広域消防防災センター）
- 4 点検者：富山県消防学校長
- 5 平成27年度 初任科生（第58期） 51名

次 第

○ 訓練開始報告 五十嵐総代（富山県東部消防組合消防本部）

○ 学校長あいさつ



只今から、初任科第58期生の卒業実科訓練を開始します

通常点検とは、訓練礼式の中のひとつで、我々消防職員は厳正な規律のもとで迅速で的確な、かつ秩序ある行動が必要とされます。その中で通常点検は、姿勢、服装、態度、健康状態及び携行品を点検し、消防人としての品位、規律を保持するものです。

訓練 (1) 訓練礼式（通常点検） 指揮者 五十嵐総代 (2) 訓練礼式（部隊訓練） 指揮者 玉谷学生（富山市消防局）

服装、姿勢、健康状態等の点検

前へー進め



指揮者の様々な号令に対して、隊員全員が同じ動きを同時に行うことにより、隊員同士の気持ちを一つにし、部隊の行動を確実に行います。

(3) ホース延長・放水訓練 総指揮者 松浦学生（高岡市消防本部）

①ホース作成

「狭所巻きホース」 「島田折りホース」 「二重巻きホース」

狭所（きょうしょ）とは、廊下や階段室等の狭い場所をさし、スムーズにホースを伸ばすことができる巻き方



② ホース延長・放水 基本延長（二重巻）応用延長（ホースカー・手びろめ）

ホースカーを使ったホース延長訓練

島田折りとは、階段や蛇行した場所でも順々に落しながら伸ばすことができる折り方



二重巻きホースの応用延長訓練

一斉放水

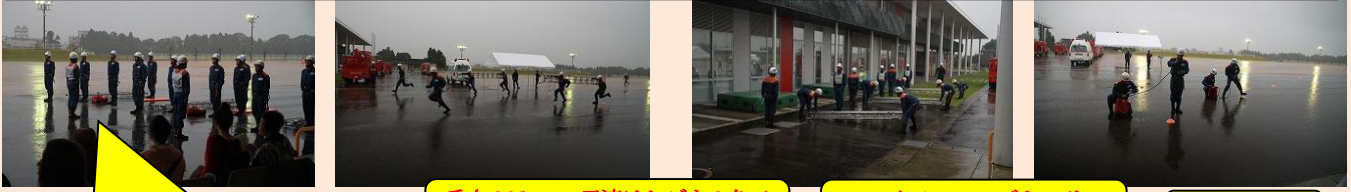


二重巻きホースとは、最も基本的なホースの巻き方で、前に押し出すことでホースを直線的に伸ばすことができる巻き方

(4) 高所救助訓練 総指揮者 宮島学生 (富山市消防局)

この訓練は、屋根やベランダといった高い場所から自力で脱出出来ない人を救出する訓練

2階のベランダに助けを求めている人が3人。どうやら、熱中症で意識が無くなったようです。安全・確実・迅速な救助が必要な模様。



応急はしご救助法で、救出開始!

重さ36kgの三連はしごを2名で担ぎ、全力疾走!!

ファイアーマンズキャリアでの搬送

救出完了!



(5) 検索救助訓練 総指揮者 松下学生 (新川地域消防本部)



検索救助訓練：火災発生による熱気や有害な煙が充満した部屋などで逃げ遅れた人を防火服や空気が充填されたボンベを装備して、探し出し救出する訓練



火災現場では、熱気などから身を守るために低い姿勢での活動が求められます。また、呼びかけることにより、返事が返ってくる望みもあるので「誰かいるか」と呼びかけながら検索します。

(6) 火災防ぎょ総合訓練 総指揮者 五十嵐学生 (富山県東部消防組合消防本部)

この訓練は、住宅密集地において、一般住宅から出火し、隣接建物への延焼拡大危険があり、逃げ遅れた人がいるという想定で実施しました。

火災現場を統率する指揮隊、消火活動及び救助活動を行う消防隊、救助隊、けが人等の救護を行う救急隊の計9隊を編成し、火災出動指令から現場到着、延焼阻止、逃げ遅れ救出といった一連の活動を初任科第57期生の6ヶ月の集大成として行いました。





集大成の一斉放水



来賓及び父兄へのあいさつ
島副総代（富山市消防局）

訓練終了報告

講評及び激励のことば
富山県消防長会長

初任科第58期生51名の6ヶ月の集大成
の卒業実科訓練でした。

